

聴能だより

令和2年6月12日発行 No.1

山梨県立ろう学校 聴能係

6月になり、連日暑い日が続いています。この時期は、補聴器や人工内耳の毎日の管理が特に大切です。

補聴器や人工内耳の管理はできていますか。イヤモールドはきれいですか。補聴器や人工内耳は、汗が大敵です。湿気を嫌うため、汗をかく夏は特に気を付けなければなりません。普段から補聴器の管理を行い、補聴器の故障を防ぎましょう。



イヤモールドのお手入れ

イヤモールドは、直接耳に触れる部分です。ベトベトしていませんか。耳垢がついていませんか。清潔を保たないと細菌が発生します。特に夏は汗をかきますので、お手入れを心がけましょう。

イヤモールドは水洗いができます。中性洗剤を少量、水かぬるま湯にいれ、その中で洗浄してください。補聴器に再接続する前にすすぎと乾燥を完全に終わらせてください。



気温の変化によって生じる結露

クーラーの効いた部屋などから、暑い屋外へ行ったとき、寒暖差により、補聴器のチューブやフックに“結露”が生じることがあります。チューブに水滴がたまると補聴器から音が出ません。

- ①チューブやイヤモールドを外し、水滴を飛ばす。
- ②ティッシュをねじってこよりを作り、チューブに通して水滴をふき取る。
- ③水滴が蒸発するまでしばらく待つ。



プールや水遊びで注意すること



- ①補聴器を水気の多いところに持ち込まない。補聴器を外し、乾燥箱に入れて保管する。
 - ②水泳後は、髪の毛をしっかりと拭く。
 - ③耳の中の水分は綿棒などでとる。
- ※ぬれたままイヤモールドを付けると、耳や耳の穴（外耳）に炎症を起こすこともあるので気をつけましょう。

補聴器管理のポイント



1. 拭き掃除

汗をかいたら、補聴器や人工内耳を外し、やわらかい布やティッシュなどで優しく全体を拭き、水分を吸い取ります。また、補聴器から電池を外し、電池や電池ボックスもよく拭き掃除するとさらに故障率は下がります。

2. 乾燥ケースの使用

汗をかいた時、就寝時や長時間補聴器を使用しない時は乾燥ケースに保管しましょう。このとき、電池は必ず外し、乾燥ケースには入れないようにします。乾燥ケースに入れると、電池の寿命が短くなってしまいます。また、乾燥ケース内の乾燥剤は定期的に交換してください。乾燥剤の種類にもよりますが、夏の湿気の多い時期は、1ヶ月くらいが目安だと言われています。毎日、乾燥剤（お菓子などについているものではない）の入ったドライケースに入れて、補聴器や人工内耳の湿気を飛ばすことが、故障を防ぐことに繋がります。



3. 汗カバーの使用

補聴器本体に布製のカバーをかぶせて使用します。汗カバーを使用することで補聴器本体への直接的な汗の付着・浸透を軽減できるので、効果的です。ただし、汗をたくさんかいて、汗がたっぷりしみ込んだ汗カバーは、常に汗に濡れている状態となります。そこから発生する湿気により、故障に繋がるケースもあります。汗カバーは、汗を吸収しやすい分、汗が溜まりやすいという欠点が存在することも覚えておきましょう。



毎月第1・3木曜日には、補聴器相談日が設定されています。リオン株式会社の方が来校し、補聴器などの相談にのってくれます。何か気になることや聞きたいことなどがあれば、担任を通して聴能係までお気軽にお声がけください。よろしく願いいたします。